※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１１

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭応用	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・前期は被服実習が中心になります。これまでの家庭科で学んできた裁縫の知識や技術を生かし、和服の製作に挑戦します。毎時間、根気よく作業に取り組みましょう。
・後期は座学が中心となります。生活の様々な現象や課題をワークショップや演習を通して協同して考え、理解を深め知識を身に付けます。多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・授業プリントについては、板書を写すだけでなく、授業のポイントや自分考えたことを余白にメモしましょう。
・教科書は１年生の家庭基礎の教科書を継続して使用します。

２　学習の到達目標

（１）日本の文化と生活の営みを総合的に捉え、家庭と社会との関りについて理解を深め、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
（２）日本の文化と家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を日本の文化を継承しながら自ら創造しようとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の文化と生活の営みを総合的に捉え、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識・技能を身に付けている。	日本の文化と家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決のために、生活を科学的に探究し、生涯を見通して生活を創造している。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて自分や家庭、地域の生活を日本の文化を継承しながら自ら創造しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	和服の製作	製作の基礎 ・歴史の中での和服や、こんにちでの位置づけを理解し、伝統的な和服の意義についての理解を深める。 ・和服独自の伝統的な用語を学ぶ。 ・縫製に関する用具や基礎的な事項を理解し、技法を習得する。	a:和服の歴史を踏まえながら、伝統的な名称や、和服の素材を学んでいる。 a:用具の適切な使用方法、布地の扱い方、縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 b:しるしつけ、基礎縫いなど、学んだ基礎的な技法を表現して製作に取り組むことができる。 c:知っている和服や、着装する機会などを通して和服の伝統について関心をよせている。また製作の準備として、基礎的技法を意欲的に学ぼうとしている。	実習（縫製の実践）	ワークシート	ワークシート
		製作 ・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、浴衣を製作する。 ・作品に応じた適切な仕上げができる。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。	a:特徴や用語を学びながら、材料の選択、寸法の決め方を製作する作品に応じて理解している。 b:和服の種類に応じた技法を習得し、それを自分の製作する作品に表現することができる。 c:技法の学びや実践をとおして、作品製作に積極的に取り組んでいる。	実習（作品製作）	ワークシート	ワークシート
		着装 ・浴衣のような簡単に着付けのできる和服を通して着装の手順を学ぶ。 ・和服の礼装と略礼装について理解する。 ・現代生活の中で慣習にとらわれず和装に親しみを持てるようにする。 ・礼装としての和服や帯の種類を理解する。	a:着装のマナーや和服の種類と用途を学び、TPO に合わせた和服の美しい着装ができる。 c:ゆかたなど、身近な和服の着つけに意欲的に取り込み、和服の着装機会に生かそうとしている。また、伝統的な和服を自分なりに工夫し、新しいものとして日常着・外出着として取り入れることに興味がある。	実習（着付け実践）		ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

後期	家庭経済	暮らしと経済 ・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 ・適切な家計管理について考える。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。	a:家庭経済と国民経済、国際経済の関係性に気づく。 b:家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。 c:生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解し、将来の経済生活をイメージすることができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	住生活	住居の選択 ・ライフステージによる住まいの変化について考える。 ・物件情報の読み方を理解し、自らの生活にふさわしい物件を選択する。 ・快適な住まい方を考え、平面計画を立てる。	a:ライフステージや住まう人の住欲求によって住居が変化することを理解する。 b:経済的な視点を中心に、通勤や周辺環境なども考慮し、現実的な物件を選択することができる。 c:住まいの生活空間の機能を理解し、将来の住生活をイメージすることができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	日本の行事慣習	日本の行事・マナー ・伝統的な日本の行事や慣習の内容やその由来について学ぶ。 ・時候の挨拶、食事や冠婚葬祭でのマナーについて学ぶ。	a:日本の様々な行事が季節や自然環境、人々の生活の営みの中で形成されてきたことを理解する。 b:日本の伝統的なマナーを学び、TPO に合わせた立ち居振る舞いができる。 c:伝統的な行事を自らの生活に取り入れることに興味がある。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度